

# 高萩市報

Public relations of Takahagi-city

No.633  
2012 Oct.



平成24年10月24日発行

緊急臨時号

特集

## 指定廃棄物

(高濃度放射能汚染廃棄物)

## 最終処分場問題

平成24年9月27日、環境省の横光克彦副大臣（当時）が来庁し、東京電力福島第一原発事故に伴い県内で発生した、放射性セシウム濃度が1キログラム当たり8千ベクレルを超える焼却灰などの「指定廃棄物（高濃度放射能汚染廃棄物）」の最終処分場候補地として「高萩市大字上君田字豎石の国有林野」が選ばれたとの提示がありました。

選定にあたっては、高萩市に対し一切の打診等は無く、横光副大臣から結果のみの報告でありました。対応した草間市長は、その席上で「断固反対する」と即座に表明しました。

# 特集 指定廃棄物(高濃度放射能汚染廃棄物)最終処分場問題

9月27日、環境省から放射性物質に係る指定廃棄物の最終処分場候補地として高萩市大字上君田字堅石の国有林野が選定されたとの提示がありました。指定廃棄物とは、東京電力福島第一原発事故により高濃度の放射性物質に汚染された焼却灰や下水道汚泥のことです。環境省によると、この最終処分場の概要は面積1・151・5haの国有林野内に遮断型構造の指定廃棄物を埋め立てる施設であり、農林業系副産物である可燃性指定廃棄物を焼却する仮設焼却炉も併せて設置する計画とのこと。そして、環境省は平成25年度から建設を始め、平成26年度からの稼働を目指すというものであります。

## 高萩市選定に断固反対!

高萩市長 草間 吉夫

「9月27日」。この日は私にとって、あの3・11東日本大震災に匹敵するほどの衝撃的な一日であった。マスコミの報道等でご存知のとおり、高萩市を訪問した横光克彦環境副大臣(当時)から、東京電力福島第一原発事故に伴い県内で発生した「指定廃棄物」の最終処分場候補地として市内の国有林野が選定されたと告げられた。

選定地決定までに市に対し受け入れ可否の打診等は全く無く、「選定された」と



告知だけであった。この一方的で国の強引な手法に対して、私どもは大変驚くとともに、強い憤りと不信感を抱いた。私は、横光副大臣に対し「断固!大反対!!」と明確に意思表示をさせていた。市長就任以来、高萩市の美しい自然環境は子々孫々まで守っていかねばならないとの観点から、一貫して産業廃棄物処理施設の建設には反対してきたからである。ましてや指定廃棄物とは高濃度の放射性物質に汚染された焼却灰や汚泥である。高萩市は東日本大震災の被災地であり、地震被害からの復興に取り組み、放射性物質の不安に怯える生活の中で除染や風評被害払拭に市民が一丸となつて取り組んでいる最中である。今回の決定は、市民感情を踏みにじるものであり、到底受け入れる訳にはいかない。環境省が提示してきた最終処分場の候補地周辺には花貫川の源流の一つがあ

る。ご存知のとおり花貫川は、市民の約8割の命を支える水道水源である。また、大事な農業用水としても使われている。下流には全国で2カ所しか生息が確認されていない絶滅危惧種であるムハンヤマメ(無紋ヤマメ)の生息地でもある。さらに、東日本大震災以降、頻発する余震の震源地の多くは高萩市の山間部である。このような大事な水源と地震被害の危険性がある場所への最終処分場設置には甚だ疑問を抱かざるを得ない。

建設反対の理由はこれだけではない。ボーイスカウト日本連盟が野外活動施設の整備を計画している。ボーイスカウト日本連盟は高萩の自然環境を評価しての進出決定である。期待に応えられない。また、天竜院がある徳川家の山林が隣接している。山林を所有する徳川ミュージアムではこの地域を「徳川の森」として、国の文化財指定を目指していることも付け加えたい。

高萩市が選定されただけで、高萩市「指定廃棄物」とのイメージは拭い去れない。本日までの一連の報道により、観光激減、農畜産物の販売不振、企業の新たな対策経費増などが予想される。今月15日、市議会を急遽招集し、風評被害払拭の補正予算を上程・可決した。これから迎える秋の紅葉シーズンに向け、テレビCMを千葉・埼玉・群馬の各地方テレビ局で実施するとともに、都内の茨城県アンテナショップで市内産品のPRを行い、少しでも目減りを食い止めたい。10月10日には、吉川議長と共に矢板市

を訪問し遠藤矢板市長・守田議長と面会した。最終処分場選定の「白紙撤回」を共同歩調で求めていくことで合意した。今後矢板市と十分なコンタクトを取って、共同歩調、協働して国へ「白紙撤回」を求めていく。

今回の事案は、まさに寝耳に水である。寝ている所をいきなり襲われたに等しい。市にとってはまさに緊急事態といつても過言ではない。

指定廃棄物最終処分場は特別措置法に基づき設置計画が進められる。通常の廃棄物処理施設のように法的対抗措置がない。私たち市民が「NO」と声を上げなければ、再来年には完成してしまふ。現在、私は、各種団体に対し、建設を反対する署名運動の協力要請に取り組んでいる。必要とあれば、各種サークル、団体、企業等に出向き、今回の経緯や私の考えを直接お伝えしたいと思えます。ぜひ、市役所に問い合わせください。

なお、下君田地区の県有地に民間業者が建設を計画していた産業廃棄物処理施設については、地元の意向を受けて、県が土地を販売しないことを決めたことから、10月4日付けで申請が取り下げられたところである。

建設を阻止するため、市民のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。高萩の自然環境と安全を守りましょう。未来と子どもたちのために。

高萩の市民力を見せるのは今です。市民力を国へ示そうではありませんか。断固!大反対!!

## これまでの経緯

9月26日	15:00	環境省職員2名が市役所へ来庁。市長と環境副大臣との面会を要請。
	17:00	臨時経営会議（市役所幹部会議）を開催。
9月27日	11:40	横光克彦環境副大臣（当時）との面会。高萩市が選定されたことが告げられる。市長は、断固反対を表明。
	12:00	市長の緊急記者会見。最終処分場の受け入れ反対を表明。
	16:00	臨時の議会全員協議会を開催。環境副大臣との面会内容と選定の事実報告。議会も受け入れ反対を確認。
9月28日	19:00	げんたか市民会議（市政懇談会）内で市長が受け入れ反対を表明。建設反対の声一色。
10月1日	15:00	市議会議員が候補地を現地視察。
10月2日	10:00	臨時の常設委員会を開催。反対署名実施で一致。
	14:00	市職員が矢板市訪問。事務レベルで協議。矢板市の取り組み状況を確認。
10月3日		（最終処分場の選定を指揮してきた横光克彦衆議院議員が内閣改造で退任）
	15:00	市議会臨時会を開催。「白紙撤回を求める意見書」を全会一致で可決。
10月4日	14:00	市長と議長が民主党逢坂誠二副幹事長と面会。民主党本部へ白紙撤回要求。
	15:00	市長と議長が園田環境副大臣と面会。環境省へ白紙撤回要求。
10月10日	15:00	市長と議長が矢板市長を訪問。矢板市と共同歩調で取り組むことを合意。
10月11日	14:30	花貫川清流の里づくりの会代表来訪。計画概要及び経過報告。
	15:00	高萩市観光協会理事会開催。計画概要及び経過報告。
	16:00	高萩市農業委員会臨時総会を開催。
10月15日	10:00	市議会臨時会を開催。風評被害払拭のための補正予算が可決。
	15:00	県知事に対し、白紙撤回の協力要望。



9月27日 横光克彦環境副大臣（当時）が来庁



9月28日 げんたか市民会議で市民200人に報告



10月3日 臨時議会を開催。国に対し「白紙撤回を求める意見書」を全員賛成で可決。



10月4日 園田環境副大臣と面会。白紙撤回を要求



10月10日 矢板市長・議長を訪問 共同歩調で合意

## 国が示した予定地



## 指定廃棄物とは

放射性物質汚染対処特措法で、放射性セシウム濃度が1キログラム当たり8,000ベクレルを超える灰や汚泥などのこととしています。これらの指定廃棄物は、国が最終処分場を建設するなどして発生した都道府県内で処分することとなっています。

# 「なぜ高萩」戸惑い

## 指定廃棄物

### 「処分場は駄目」 住民、過疎拍車を懸念



指定廃棄物の最終処分地候補地となった「聖后園青林」上萩市若田

指定廃棄物最終処分場の集約候補地として、環境省は先日、高萩市若田地区を選定することを明らかにした。同市唐突発表に反対を表明し、市民からは「最終処分場は駄目」「戸惑い」と、戸惑いや不安、反発の声が上がった。

横光孝幸環境大臣、記者団に答えている。断固明の場を設け「ほし」に採掘地を認めない。反対は入社者。市に力を要する。草間市長は「説明は白紙何と云えは「山らの水田んぼや飲み水などに使われる。最終処分場は駄目」と強調した。

市によると、候補地の上田地区は、市街地から約20、北西の山間部で、約100ヘクタール。今年8月現在で90世帯180人の住民が暮らす。約1ヘクタールの候補地から約1ヘクタールの山間部を選定した。理由として「山間の水田んぼや飲み水などに使われる。最終処分場は駄目」と強調した。

農用水の受取は候補地の山中にあり、給水設備も整備済み。水はけがよい。田舎の静けさ、自然の豊かさを味わうことができる。環境省は「指定廃棄物の最終処分場は安全」と強調している。市議は「指定廃棄物の最終処分場は安全」と強調している。市議は「指定廃棄物の最終処分場は安全」と強調している。

## 5市13カ所から選定

### 地質や水源、集落距離評価

県内の指定廃棄物最終処分場の候補地選定をめぐり、環境省は27日、事前公表した。5市13カ所から選定した。地質や水源、集落距離を評価した。高萩市は5カ所の候補地の一つに選ばれた。高萩市は5カ所の候補地の一つに選ばれた。高萩市は5カ所の候補地の一つに選ばれた。

# 「断固反対」高萩を処分場選定

## 指定廃棄物

### 建設難航は必至



放射能汚染が懸念される高萩市の「指定廃棄物」最終処分場建設で、横光孝幸環境大臣が「断固反対」と表明した。高萩市若田地区を選定することを明らかにした。同市唐突発表に反対を表明し、市民からは「最終処分場は駄目」「戸惑い」と、戸惑いや不安、反発の声が上がった。

環境省は先日、高萩市若田地区を選定することを明らかにした。同市唐突発表に反対を表明し、市民からは「最終処分場は駄目」「戸惑い」と、戸惑いや不安、反発の声が上がった。



指定廃棄物の最終処分地候補地となった「聖后園青林」上萩市若田

茨城新聞 1・22・23面  
2012年9月28日付

# 「安全か」募

## 環境省 秘密主義貫き候補地選定 唐突通告、反発と理解



環境省は27日、事前公表した。5市13カ所から選定した。地質や水源、集落距離を評価した。高萩市は5カ所の候補地の一つに選ばれた。高萩市は5カ所の候補地の一つに選ばれた。高萩市は5カ所の候補地の一つに選ばれた。

印刷で使用するアルミ箔をリユースして印刷する事で排出量12.37kg(電力19.24kWh)を削減しました。

MCP

表紙、裏表紙、裏表紙、裏表紙

2012 No.633緊急臨時号  
市報

発行日/平成24年10月24日 編集/高萩市経営戦略部市長室  
〒318-8511茨城県高萩市春日町13-10-16(前庁舎) TEL0293-25-7320 FAX0293-24-4653  
info@city.takahagi.lg.jp 高萩市ホームページ http://www.city.takahagi.ibarak.jp/



高萩の未来と  
子どもたちのために  
美しい自然環境を  
守りましょう